

2025年3月31日  
SCSK株式会社

---

## 大規模・重要システムのデータベース移行にも対応したサービスを ITトランスフォーメーションパッケージで提供開始 ～移行前評価から移行後の最適化まで、豊富な実績とAI活用で支援～

---

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社(以下 AWS ジャパン)と連携して提供している、「AWS IT トランスフォーメーションパッケージ for MCP(Migration Competency Partner) SCSK版」(以下 ITX)において、データベース移行に特化した「クラウドデータベースマイグレーション対応版」を2025年3月より提供を開始します。本サービスは、総合的なデータベースの移行アセスメントにより、データベースの最適な移行を選定・実施し、移行後の最適化、変革、データ活用まで対応したサービスを、お客様の個々の要望に合わせて提供します。

### 1. 背景

クラウド環境へシステムを移行する際のデータベース移行の複雑さや移行後の性能保証、コストなどの課題を解決する「クラウド・データベース・マイグレーション・サービス<sup>※1</sup>」を提供しています。また、システム全体のAWS環境への移行については、ITXのリフト&シフト対応<sup>※2</sup>、およびクラウドネイティブ版<sup>※3</sup>で対応しており、SCSKのサービスを最適に配置したパッケージで円滑な移行を支援するサービスを提供しています。その中にデータベースの移行も含まれておりますが、ミッションクリティカルなデータベースのオンプレからクラウドへの大規模リフトや、異種データベースへのシフト、クラウドリフト後のデータベース最適化における、お客様のさまざまなニーズに対応するため、ITXを活用したクラウド移行の支援を進める中で、「データベース移行」に特化したITXのサービスを企画しました。

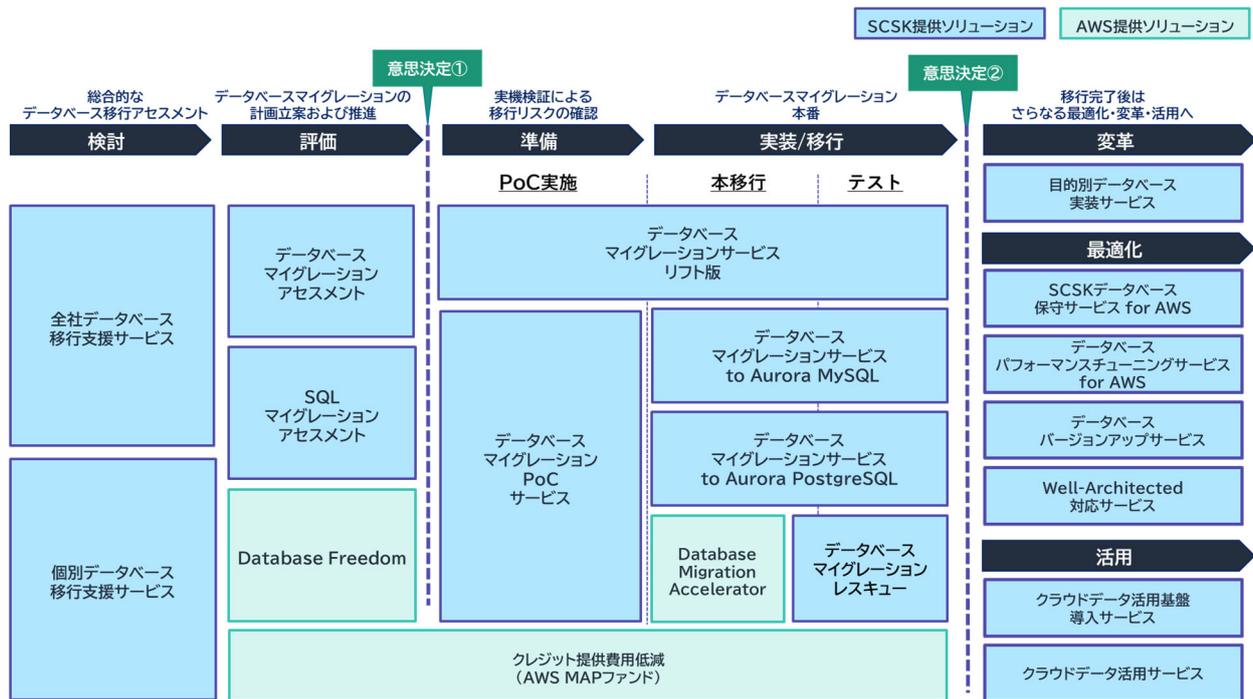
※1 <https://www.scsk.jp/news/2020/press/product/20200526.html>

※2 <https://www.scsk.jp/news/2023/pdf/20230420.pdf>

※3 <https://www.scsk.jp/news/2024/pdf/20240508.pdf>

### 2. 本サービスの特徴

本サービスは、AWSへのデータベース移行を検討されているお客様に対して、大規模リフトや重要システムの移行の検討から移行後の最適化・データ活用まで、お客様の個々の要望に合わせたサービスを提供します。



※上記サービスは、データベースそのものの移行を指しており、データベースの移行に伴う SQL 変換以外のアプリケーション側の変更は提供範囲外

### ① 検討・評価フェーズ

AWS環境にデータベースの移行を検討しているお客様に最適なデータベースを選定し、移行計画の立案を支援します。個別システムだけでなく SoR システムを中心としたミッションクリティカルデータベースの大規模リフトなど、トータルの移行検討も支援します。また、現行と異なるデータベースを新しい環境へ移行することを検討しているお客様には、アセスメントを通じて移行難易度を判定し、変換工数を算出するとともに、お客様に最適なデータベースの選定を支援します。

### ② 準備・実装/移行フェーズ

準備フェーズでは、移行前後で差異が生まれやすい性能面について、実機を用いた検証(PoC)を通じベースラインを確認します。また、実装/移行フェーズでは、データベースの移行、および移行後のアプリケーションテストに関わるデータベース領域の問題解決を支援します。特に、Oracle DB から Amazon Aurora などの異なるデータベースの移行では、AWS から提供される生成 AI ソリューションの活用も見据えつつ、データベースオブジェクトや SQL の変換工数の短縮化を検討します。

### ③ 変革・最適化・活用フェーズ

データベースをクラウド環境に移行した後も、お客様の要望にあわせ、変革・最適化・データ活用の3つのパスを用意しています。

#### 変革フェーズ

Amazon ElastiCache の活用や Amazon DynamoDB、Amazon Aurora DSQL の採用など、お客様のシステムに合った、目的別のデータベースの採用を支援します。システムに合ったデータベースを採用することで、拡張性や性能向上による運用負荷の軽減や、コスト効率の向上可能となります。

#### 最適化フェーズ

クラウド環境への移行後は、性能に問題が出るケースや、新しい環境の保守に不安を抱えるケースがあり

ます。また、継続的なバージョンアップに対応する必要があります。そのため、移行後のデータベースをさらに安定的、効率的に使用するために、「保守サービス」「パフォーマンスチューニングサービス」「バージョンアップサービス」により、お客様の負担を軽減します。また、クラウドアーキテクチャの設計と運用を改善し、信頼性、セキュリティ、効率性、コスト管理、持続可能性を高めることを実現する「Well-Architected 対応サービス」も提供します。

#### 活用フェーズ

AWS環境に移行したデータの活用サービスです。「クラウドデータ活用基盤導入サービス」は、Amazon Redshift や Snowflake などの最新 DWH ソリューションを活用し、迅速かつ効率的にデータウェアハウスの構築をサポートします。また、「クラウドデータ活用サービス」は、Amazon QuickSight によるデータ可視化、Amazon SageMaker を用いた AI/ML 連携、Amazon DataZone を活用したデータコラボレーションを目指し、データ活用を総合的にサポート、戦略的な意思決定を支援します。2つのサービスにより、迅速にクラウドデータウェアハウス(DWH)へ集約し、可視化・分析することにより、データに基づいた戦略的な意思決定を迅速に行うことができます。

#### 本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

ソリューション事業グループ

クラウドサービス事業本部 クラウドサービス第二部

E-mail: [cbdc-all@scsk.jp](mailto:cbdc-all@scsk.jp)

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。